



2026年5月13日

各位

会社名 **ネツレン**
高周波熱錬株式会社
代表者名 代表取締役社長執行役員 大宮 克己
(コード番号 5976 東証プライム市場)
問合せ先 上席執行役員経営企画室長 久田 直志
(TEL. 03-3443-5441)

第16次中期経営計画の見直しに関するお知らせ

当社は、第16次中期経営計画「Aggressive Challenge One NETUREN 2026」(実行期間:2024年4月から2027年3月)を公表しておりましたが、2026年5月13日開催の取締役会において、数値目標を見直すことを決定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 連結経営目標

	2027年3月期 今回見直し計画	2027年3月期 当初計画
売上高	640億円	700億円
営業利益	21億円	46億円
営業利益率	3.3%	6.5%
ROE(自己資本当期純利益率)	2.5%以上	6.5%以上
ROA(総資産経常利益率)	3.1%以上	5.5%以上
ROIC(投下資本利益率)	3.1%以上	5.5%以上

2. 見直しの理由

当社グループは、2024年5月9日に公表しました第16次中期経営計画においてNETUREN VISION 2030「進化和躍進」の達成に向け、4つの基本戦略を柱として各種施策を推進しております。これまでの取り組みとして、M&Aや資本参加も含め、事業基盤強化に向け一定の成果を上げてまいりました。一方で、計画していた新商品の市場投入に遅れが生じるなど、当初想定との乖離も一部に発生しております。

こうした状況に加え、当社グループを取り巻く事業環境は、中期経営計画策定時の想定以上に厳しさを増しております。国内においては、物価上昇や人手不足の深刻化が想定を上回る水準で継続しております。また、海外においては、中国経済の減速長期化に加え、ウクライナ紛争に端を発した原油価格・エネルギーコストの高止まりが継続しております。さらに、中東での紛争等による地政学リスクの高まりや米国の関税引き上げなど、新たな不確実性も高まっており、先行き不透明な状況が続いております。

このような経営環境のもと、当社グループでは、引き続き新規ならびにコア事業の拡大、材料費・電力費等のコスト上昇分に対する販売価格への適正転嫁、さらには原価低減活動を推進してまいります。しかしながら、今後も厳しい事業環境の継続が見込まれることから、第16次中期経営計画最終年度(2026年度)の数値目標を見直すことといたしました。

売上高につきましては、国内需要の伸び悩み、中国市場を中心とした海外需要の回復遅れ、ならびに一部事業における販売数量の減少等を踏まえ、700億円から640億円に見直しております。また、営業利益につきましては、売上高減少の影響に加え、原材料価格・エネルギーコスト・人件費の上昇、海外事業環境の悪化等による収益性低下も踏まえ、21億円に見直しております。

以上

(注)当資料に記載した連結経営目標等の数値は、現時点で入手可能な情報に基づき判断した計画であり、多分に不確定な要素を含んでおります。実際の業績等は、業況の変化等により上記連結経営目標等の数値と異なる場合があります。